

中山間地域の地域おこし

佐野市総合政策部政策調整課地域活性化係

9 班

コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科
グループ指導教員

増山嘉一
松田彩花
宮下明依
原田淳

大竹恒生
齋藤詩歩
木内優翔

岸悠斗



1 背景と現状

人口：1,063人（令和7年8月）の中山間地域
高齢化率：飛駒地区46.66%/市全体32.11%
○人口減少・少子高齢化等が進んでおり、地域コミュニティ機能の衰退が問題となっている。

〈昨年度の活動について〉

昨年度はスマホ教室を行った。好評ではあったものの、「大学生と交流できてよかった。」という感想が多く、「スマホ教室」自体のニーズは必ずしも高くないと考えた。そこで、新たな提案をする運びとなった。

2 活動の目的

①飛駒地区の地域愛着の育成

飛駒地区の住民自身が、飛駒の良さを改めて見つめ直し、地域への親しみを深める機会を提供する。

②継続的に世代間交流が生まれる環境づくり

多様な世代の交流が継続的に行われるよう、新たな取り組みを考案する。その実現に向けて、宇都宮大学の学生、佐野市役所、飛駒地区の住民が官学民で協働し、地域活性化の土台づくりを行う。

3 方法 ～星空観察会(11月22日)に向けて～

1st cycle

5/27 飛駒地区の住民との意見交流会

- 一過性のイベントばかりで、継続性がない
- 地域の人のみで続けられるイベントの開催を軸に検討開始
- 飛駒地区の魅力を住民の目線から知る

6/17 飛駒地区の代表による地域の紹介

飛駒地区の現状や課題を実際に見て学んだ

7/20 祇園祭への参加

- 住民との対話を通じ飛駒地区内イベントの開催を決意
- "地域の人で行える身近な交流"を軸に決定

2nd cycleの方針

- ①地域の人が主催となり発信するイベントの開催
- ②地域内外の人が集まる機会の創出
- ③地域住民による持続可能な取り組み
- ①～③を踏まえ
- 「第1回飛駒地区星空観察会」の提案・開催を目指す

2nd cycle

夏季休業:住民むけの企画提案の準備（説明資料の準備）

9/29 住民に向けての"星空観察会"の提案

- 住民の意欲と協力的な姿勢を実感
- 地域と協力しながら企画を進めていくことに決定
- 役割分担・パンフレット作成・当日の流れなどの検討

10/21 地域パートナーとのミーティング

パンフレット・当日の流れ・広報方法の確認

11/4 星空観察会の会場の下見

会場の決定・住民にパンフレットの確認

11/18 星空観察会のリハーサル

当日の流れの確認

11/22 「第1回飛駒地区星空観察会」開催



目的

- ①飛駒地区ならではの星空を通じた魅力を地区内外の人へ発信
- ②身近な人と一緒に星を眺める機会の創出



企画内容

星座早見盤作成・星空観察会の二部構成
星座にも興味を持って欲しい！



広報方法

地区内：自治会の回覧板で周知
子供向け：義務教育学校でのチラシ配布

分析結果と考察

参加人数：45名(地区内27名/地区外18名)
住民協力：16名（広報活動・交通整備など）
→地域の方々の積極的な先導により、円滑なイベントが実現した。

〈ヒアリング調査〉

星座早見盤を作るという新鮮な体験ができた。（地区内・高齢者）
飛駒地区の友達と会えて楽しそうで良かった。（地区外・小学生の保護者）
星を見ること・説明を聞くことができてよかった。（近隣コテージ利用者）
→地区内外や年代を問わず、参加ニーズのあるイベントであった。

〈考察〉

星空観察会は体験・交流・学びといった複数の価値を提供できるイベントであり、地域愛着のさらなる醸成が期待できる。

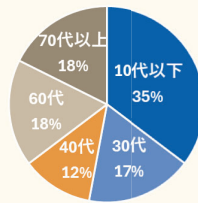


図1 参加者の年齢分布

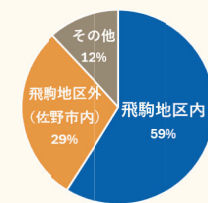


図2 お住まいの地域

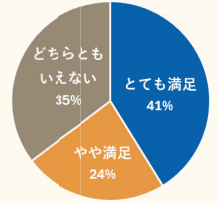


図3 星空観察会の満足度

4 最終提案

「星空観察会」を地域に根づく行事とするには
学生主導で終わらせるのではなく
飛駒地区が自走できる体制を整えることが重要である

そこで、以下の提案を行う。

【星空観察会の手引きの内容】

- ・開催に向けた準備（開催日、日程、予約、準備するものなど）
- ・当日の進行（固定台本、季節ごとの台本、雨天の対応など）
- ・事後対応（アンケート、次回開催に向けて）

○この手引きは完成品ではなく、

「住民が考え、試し、よりよいものにしていくための“土台”」である。

星空観察会運営の手引き



5 今後の展望

3月に行われる、飛駒地区の住民への引継ぎ会への準備を進めている。

〈主な内容〉

- ・星空観察会の手引きの譲渡
- ・現地での最終提案

○第2回星空観察会では、飛駒地区の住民による運営ができる状態を目指す。

○星空観察会をきっかけに、「天体観測がしやすい場所」として飛駒地区をブランディングし、地域活性化を図る。